

## さっさ立て算問題 ※勤者御伽双紙より

たとえば、相手に10円玉を30個渡し、1回に1個か2個ずつ左右の皿に載せてもらう。1個のときは左の皿、2個のときは右の皿とし、手元の10円玉がなくなるまで続ける。

このとき、どちらの皿に載せたときも、「さあ」と1回だけ声をかける。この声を聞くだけで、左の皿に10円玉が何個あるかをぴたりと当てる。たとえば、「さあ」が18回ならば、左の皿に10円玉は6個と答える。どうすれば当てられるか。

【答え】 説明してみよう！

